



田浦学長

短期大学創設五十周年にあたって

学長 田浦武雄

二〇〇三年は、名古屋柳城短期大学の創設五十周年の記念の年にあたっている。また本学が属する柳城学院の始まりとなる保母養成が、

年に一〇〇名、一九八六年に一五〇名となつて、今日にいたっている。
一九九六年四月から名古屋柳城短期大学に名称が変わつた。その理由は、柳城の知名度を高めるため、名古屋を冠し、新しい時代に備えて「女子」の字をとることにしたとされている。

本学の初代学長は、フラン

クスの困難や試練を乗り越えて本学は発展してきた。本年三月までに、専攻科を含めて短大の卒業生は五二〇〇名を越えるに至つた。その多くが保育や社会福祉の領域で活躍し、社会のために貢献してきた。

専攻科として保育専攻は一九九七年に設置され、介護福祉専攻は一九九八年に設

一八九八年にカナダの宣教師マーガレット・ヤング先生によつて創められてから、一〇五周年を迎えた。この間、戦災を始め多くの試練にあつてきた。

戦後の教育改革により、短期大学の制度が生まれ、本学は一九五三年に、柳城女子短期大学の名称をとつて創設された。当初入学定員は、二十名で始まつたが、一九七四

シス・B・ホーキンス先生であつた。同学長時代一九五〇年に現在の明月町に校舎が建てられ、一九五八年に体育館が新築された。一九六一年に先生はカナダに帰国され

て後も、絶えず柳城のことを思い、その発展を祈り続けられたことは、感謝に絶えないところである。歴代の理事長、学長を始め、教職員や関係者の協力により、これまでの多

置された。前者では幼児教育の優れた専門家の養成がめざされており、幼稚園教諭一種免許状を取得でき、教育学士になることができる。後者では、高齢社会の担い手となる介護福祉士の資格を取得することができ、専攻科の修了生が各分野で活躍していることは喜ばしい。

二〇〇〇年には、専攻科の男女共学制が、翌年には、短

大保育科の男女共学制が導入された。その理由は、介護専攻を作る際に、介護福祉士としての男性の働きも期待されるので、男女共学にふみきり、また幼児教育の面でも男性の教員の働きが重要だと考えたためである。それと関連して、短大保育科の共学にもふみきつた。この制度への評価が高まることを期待している。

これからの社会は、情報社会や資格社会の傾向も強くなるので、学生の皆さんも自己の能力を開発するとともに、試練にあつてもくじけない力の育成に努めていただきたい。

附属幼稚園の三園も、教育実習の生きた場となり、また地域社会に奉仕するものとなり、子育ての改善へ向かつての役割を、いっそう果たしていただきたい。

創設五十周年にあたり本学に関わる人々が、過去から学び、未来の創造に向かつて進むことを期待したい。



《どうぞ母校に

お帰りください!》

本院は今年、ヤング先生がひとりの学生に保育を教えはじめて以来一〇五周年、短大となり五十周年、また、介護福祉専攻科開設五周年という記念すべき年を迎えました。学院と同窓会では、この喜ばしい年、ぜひ卒業生の皆さまに母校に帰ってきていただくため、この期間を《ホームカミングデー》とし、ともにお祝いしたいと願っています。特に、今回は初代学長ホーキンス先生ゆかりのダイアン・ディストラー女史をお迎えすることになりました。下記の行事のいずれにもご参加いただけます。尚、十一月一日(土)の出席その他の詳細につきましては、次頁の表とともにそれぞれの項目をご覧ください、同封のがきに

て必要事項をご記入の上、ご返送くださるようお願いいたします。



松澤哲郎先生



川原啓美先生



渡辺哲雄先生

●十月十八日(土)介護福祉専攻開設五周年記念講演会
講師 渡辺 哲雄先生
詳しくは、10頁及び同封のチラシをご覧ください。

●十月二十九日(水)合同礼拝
愛知国際病院
川原 啓美理事長

先生は、ネパールでの医療協力の経験からアジア保健研修財団を設立し、多くのアジアの医師などの研修を受け入れ、草の根の保健活動に貢献しておられます。また、地域に支えられる医療活動を推進するとともに、ホスピス病棟も開設されました。このような豊かなご経験に基づき、先生から貴重なお話が何えると思えます。

●十一月一日(土)創立記念礼拝
・感謝パーティーなど

記念礼拝に初代学長ホーキンス先生ゆかりの、ダイアン・ディストラー女史をお迎えすることになりました。この機会にカナダ聖公会への感謝を皆様で表したいと思えます。女史については、下記の記事をごらんください。当日は、感謝パーティーも開催しますのでどうぞご参加ください。

ホーキンスチャペルを訪ねて



D・ディストラー女史と

柳城の百年史の執筆を一部担当することになり重圧を感じながら歴史資料室に通い詰め何日かたつたある日、学報に掲載された短期大学初代学長ホーキンス先生の手紙が目にとまりました。それはカナダからの、創立七十五周年記念式典招待へのお礼状でした。ホーキンス先生は来日当時八十三歳で、



アセンション・チャーチ内ホーキンス記念チャペル

招待に応じたのは教え子たちとお別れの意味もあったと述べていました。教え子への愛にあふれたこの手紙に感動し、私は、ホーキンス先生の墓参をしたいと思えました。インターネットの検索により、カナダ・ハミルトン市のアセンション・チャーチ (Ascension Church) 内にホーキンスチャペルがあることがわかりさっそく電話をしました。すると、なんとホーキンス先生の大姪に当たる方が教会にいらつしやるのがわかったのです。今年三月、主に介護専攻の学生対象に毎年実施し、

日 時	場所	内 容
10月18日(土) 13:30~16:00	体育館	講演会 講師 渡辺哲雄氏 「老いの風景—老いること・死ぬこと・愛すること—」 ※同封のチラシによりお申し込み下さい。
10月29日(水) 合同礼拝 12:50~14:20 記念音楽会 14:30~15:20	体育館	合同礼拝: 講師 アジア保健研修財団理事長 「共に生きる」 川原啓美氏 記念音楽会: 本学教員
11月1日(土) 記念礼拝 10:00~11:30 墓前礼拝 11:30~12:50 感謝パーティー 13:00~15:00	体育館	創立記念礼拝 墓前礼拝・記念植樹 感謝パーティ(来賓・卒業生対象) 軽食を用意しています。
11月2日(日) 13:30~15:30	体育館	柳城祭 記念講演会 「チンパンジーの親子のきずな」 講師: 京都大学 松澤哲郎教授
11月2日(日)~3日(月) 10:00~16:00頃	短大	柳城祭 ミニオープンキャンパス

*尚、どの行事も参加は無料です。

ください。
尚、墓前礼拝・記念植樹も予定しています。
●十一月二日(日)三日(月)
記念講演会・柳城祭
講師松澤哲郎教授は、京都大学霊長学研究所において、チンパンジーの認知の研究を、そしてアフリカで長年、野生のチンパンジーの生態を研究しておられます。特にチンパンジーのアイの子育ては、よくご存知のことと思います。どうぞ期待ください。柳城祭の今年のテーマは、「二人はみんなのために」です。在校生だけでなく、たくさんの同窓生、皆さん、地域の方々、子どもたちと一緒に、五十周年を迎えた母校をお祝いしたいと思っています。プロの大道芸あり、職人による鉛細工あり、学生によるピアノコンサートあり、例年より充実した模擬店あり...と盛りだくさん! 小さなお子さまをお連れの方のために、託児ルームも用意しております。

「柳城学院百年史」の刊行

懸案であった本学院の「百年史」を、短大創設五十周年の記念事業のひとつとしてようやく刊行することとなりました。これまで多くの方々目に届くことのなかった種々の写真や資料を取り入れ編集しています。どうぞご覧頂きたいと願っています。同封のはがきにてお申し込みください。ご出席の方は、当日受付で代金をお支払いいただきます。年内をめどにお送りいたします。(送料込み二〇〇〇円)

しているカナダでのセント・ローレンス・カレッジ老年学研修の帰りに、その教会に立ち寄り、ホーキンス先生の兄ジョージ(George)の孫にあたるダイアン・ディストラ(Mrs. Diane Distler)さんにお会いすることができました。ダイアンさんはホーキンス先生の影響を受けて司祭になる準備をしていらっしゃるとのことでした。
☆このことがきっかけで、ダイアンさんを、今秋の短大創設50周年記念行事にお招きすることとなりました。特にホーキンス先生の教え子に当たる方は、万障お繰り合わせの上、十一月一日の記念礼拝、感謝の集いにおいて下さい。(中根記)



ホーキンス先生
(Frances B. Hawkins)

歴史資料室より

ヤング先生、ポーマン先生、ホーキンス先生及び本学に関する貴重資料をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。

連絡先 名古屋柳城短期大学
歴史資料委員会まで
☎052-841-2635



1953(昭和28)年 開学式で挨拶するホーキンス先生

小さな塾から 短大になるまで

平安女学院チャプレン・日本聖公会歴史研究会会長
(元 本学チャプレン) 大江 真道



大江 司 祭

名古屋柳城短期大学が現在の姿になるまでは長い一世紀以上の歴史がありました。創立者は皆様よくご存知のヤング先生です。ヤング先生は明治二十八年に名古屋に婦人宣教師として赴任しました。その当時は濃尾大地震のあとで、多くの困窮者や孤児がこの地域にあふれていて、明治二十一年暮れにカナダから名古屋に到着し伝道を開始したロビンソン司祭、ハミルトン司祭らが救援活動をしていました。ヤング先生は、自宅を開放して一人の教師を養成し、幼稚園をはじめました。明治三十九年英国の伝道団体のCMS(福音宣教師協会)が東区白壁町の武家

屋敷を購入して婦人伝道師(当時宣教師はバイブル・ウーマンと呼んでいました)養成の神学校を開設しました。柳城の学生は、聖書学については共に学びました。この神学校は明治の終わりに兵庫県芦屋に移りましたので、その跡の地所と屋敷を柳城保母伝習所が譲り受けました。ヤング先生が引退されたあとポーマン先生が大正十一年から校長として奉仕されました。大正末期から昭和十年代の柳城はとも充実し、日本聖公会中部教区の伝道活動と一体化して宣教と幼児教育活動が展開されました。中部教区で奉仕したほとんどの婦人宣教師の先生たちは柳城の教育と深い関わりをもつておられました。

昭和十年にはハミルトン主教が引退され、理事長には佐々木鎮次主教が就任され、困難な時期を指導されました。柳城は規模の小さい学校でしたから神社

参拝問題や特別高等警察による迫害はあまりなかったのですが、宣教師の先生方が戦時色が強くなるなか昭和十五年十一月に全員帰国されたので、日本人の諸先生が学校と幼稚園を引き継いで活動しました。昭和十九年十二月より名古屋にも空襲が始まり、二十年三月十九日の大空襲により、本園養成所は焼失しました。昭和十八年に柳城の専任主事として就任した西原新一先生は、学生を一宮市の郊外の寺へ疎開させましたが、その寺も爆撃されて全焼し、やがて終戦となりました。戦後は日本中の人々が食料不足で生活に困っていました。その廃墟のなかへかつての宣教師諸先生が帰ってこられたのです。柳城は保母伝習所から保育専修学校と名がかわり、やがて学制改革によつて柳城女子学院、そして柳城女子短期大学へと昇格しました。このとき活躍した方はホーキンス先生でした。

短期大学への道のりはなかなか大変でした。そのとき助けて下さったのが愛知教育大学の諸先生たちです。また附属幼稚園の活動も戦前から教師としてあるいは現場で園長・教諭として活躍していた坂東きく先生、松原霜先生、近藤八重子先生、高橋篤先生、野中芳子先生ら多くの方々が柳城の短大昇格のため協力しました。教会も柳城のため尽力し、土地建物は教区の社団から学校法人に寄付し、財政的にはカナダ聖公会の伝道局とカナダ聖公会婦人補助会が募金活動をして運営と発展に尽くしました。

しかし戦後も二十数年経過し、カナダの教会からの援助は困難になりました。この問題を解決するためには五十人程度の小規模な学生数ではなく、学生数の増加と施設の拡充が必要となりました。東海地区の幼児教育施設が資格ある教師を必要としておりその要望に答えるべく、戦後、柳城から身を引いておられた西原新一先生が第三代の学長となり、現在の場所を最大限に活用する校舎の建設と教育科目の拡充のため奉仕しました。

その後、メリット学長、小林哲也学長をへて田浦学長へと受け継がれてきたのです。

私は教育系の大学を昭和二十九年に卒業しましたが、神学校へいく準備のため教会で牧師の仕事を手伝っていました。昭和三十年に教会の用事で柳城女子短期大学にきたとき、びっくりしました。ちいさな校舎が一棟ポツンと原っぱの中に立っていました。「えっ、これが大学?」と思つてびっくりしました。その大学に私が学生のと

きの教授がセッセと嬉しそうに講義に通つておられたのも不思議でした。講義が終わると学長のホーキンス先生が美味しい紅茶とクッキーを出してゆつくり会話をなさるのが何よりも嬉しいと言われました。つまり、柳城は塾のような学校だったのです。

名古屋で働き牧師の仕事のかたわら私は、西原新一学長のときから非常勤講師としてキリスト教のほかに宗教学の講義を担当していました。教区と日本聖公会の歴史編集委員をしていたので、自然にこの大学の初期の歴史に関心をもち、昭和五十五年一月に一月カナダ聖公会のアーカイブに史料調査にいきまして柳城の歴史資料も収集し、いま

も研究しています。

大学の起源については諸説があります。教会では聖職者養成の神学校が源流でした。仏教では修行道場の僧院での学習が最初です。同様に、ヤング先生、ホーキンズ先生、ホーキンズ先生（初代学長）、坂東先生（第二代学長）とずっと続いた小規模経営の、柳城保姆伝習所・養成所・保育専修学校・女子学院・柳城女子短期大学の歴史はまさに塾に毛が生えたような小さなものでした。しかし、そこにあるのは教師と学生の真剣な生活でした。寮の生活には今失いかけている教育の原点があったと思われるのでした。



名古屋柳城短大 五十周年に寄せて

金澤 佐和子
(短大第一回卒)



私が柳城と一番初めに係ったのは、高校卒業間際に、将来の計画を問われ、「短大の英文科へでも」とお返事をしましたところ、「私の家内は、実に素晴らしい聖公会の学校で、小規模ではあっても、愛をもつて幼い子どもたちを育てる学校の卒業生なんですよ」とこのお話をして下さったのが、私共の大先輩、佐藤ふみさんの御主人、佐藤裕先生、だったのです。私は即座に「その学校に入りたいです」と申し出ました。

人の友人と私の三名が短大生となり、他の友人達と共に勉学に励みました。

短大生は三十名足らずであったと思います。当時、私共の恩師であられた、坂東先生は、未だカナダに留学中でお留守でした。

短大の附属幼稚園は、白壁、瑞穂、御器所、研究所の四園で、学生は週に何回か、午前中のみ実習に通つての勉強でした。園では、先生方の子どもの扱い方を多く学ぶ事が出来ました。

私共に講義をして下さった方々は、生物の高嶺教授のお世話で、隈元教授、磯谷教授など、ご立派な方々で、愛知学芸大学からおいでになっておられました。教授の方々は、柳城の校風を好んで下さいましたのが、私共にも良くわかりまして、実にうれしい事でした。

第一期生として卒業して以来、五十年を経たとは、私にとって驚きでございますが、創立以来ずっと、私共に与えられている「愛をもつて仕えよ」のみことばは、私共にとって、大きな喜びであり感謝です。

私たちの「あいの会」が 柳城短大の礎として 生きますように

金子 麗子
(短大第一回卒)

柳城短大のお祝いの式典でホーキンズ先生が述べられた「愛をもつて仕えよ」のおことば、まだこの間お聞きしたように思いますのに、あれからも五十年も経ってしまったのですね。驚きました。

私たちが、こうした会を開くことに決めたのは柳城創立八十五周年記念の折に集まったクラスメートが、これから年に一回くらい逢いましょう！ということではじめました。四国の方に計画頂いて瀬戸内海クルーズした時に、もうそろそろこの会に名前をといたことになったのです。「あいの会」は、どうでしょうというところで全員賛成で決めました。

この名前には三つの意味があるのです。一、柳城のモットーの「愛」二、年に一度、逢い交流を深める「逢」

三、海の上で、この名前が決まったので海の「藍」よく考えた名前でしょうか？

その後、このあいの会は当番を決め、その地方で毎年開きました。出席者がとても多かったのは、ひとりひとりがお互いに思いやり、お互いの存在を認め合つて信頼があり尊敬しますが自慢、装飾のない集まりであったことです。又、都合で欠席する方には、みんな暖かい気持ちを届けました。

卒業して家庭を持っていきますが夫々の持ち味を出して、いろいろの面でみんな活躍しています。中には幼稚園を運営して、また現職で働いている者もいます。それを、このあいの会

の評議員になって支えているのです。



「あいの会」筆者 左から3番目

野中芳子先生永眠



ち園児から、最中先生、もなか先生と慕われました。

また、昭和二十年春から柳城保育専修学校の「製作」を担当し兼務とられました。短大では主に「手技(折り紙)・製作」の担当教授として学生に親しまれ、附属御器所幼稚園でもたくさん

の園児に思い出を残されました。保育者の養成と幼児教育に多大な貢献をし、教授・園長・同窓会長などを歴任、本学で五十年以上の教員生活(平成六年まで)を終えられた先生をたたえ、名譽教授の称号があたえられました。

また、昨年度、野中先生より生前贈与として柳城へ校舎建築寄付金三千万円をいただきました。感謝に絶えません。

生前に親しく交わりをもたれた教え子の佐藤文子さんに追悼文を書いていただきました。永遠の安息を心よりお祈り申し上げます。

敬愛する野中芳子先生

佐藤 文子(昭和三十四年卒)

ロイス野中芳子先生の葬送式

は、日本聖公会の名古屋聖マルコ教会で行われました。その時、詩篇第二三編「たとえ死の陰の谷を歩んでも、私は災いを恐れない」と四節を唱えながら、

野中先生の凛とされ、厳しいが優しい(私達生徒の成長を信じ静かに見守って下さった)お姿が目に見えてまいりました。ご生涯を柳城の校歌の歌詞のように「おさなきもの」と共に過ごされた先生、今は神様のみもとに憩われておられることでしょう。

又、姪ごさんの献笛「序の舞」では、あたかも野中先生と語り合われておられる様な笛の音でした。

私は四年ほど前から一年に一度ゆつくりと野中先生にお会いし、お話を出来る機会にめぐまれていました。それは野中先生が柳城幼稚園で担任された時の園児であった神田さんのおかげでした。

神田さんは園児の時どうしたことがおもしろいをしてしまい恥ずかしいでしょうと困った時、野中先生はすぐ誰にも気づかれない内に、そっと連れ出し

てきれいに下さったそうでした。その間ずっと優しいお顔で、

神田さんは「マリア様は先生のことだ」と思われ、そのことがきっかけでキリスト者になりました。それ以来ずっと六十余年のあいだ野中先生にお会いしたいと思いつづかれ、四年前にやっと先生と再会され、それから毎年私も一緒に話してきておりました。

一昨年、柳城の歴史資料室でお元気な先生に神田さんと共にお会いし、ポーマン先生のお写真、カナダへ招かれた時のこと等、ポーマン先生がいかに柳城を愛して下さっていらしたかを話して下さいました。その日、

先生は胸に美しい楓のブローチをされており、本当によくお似合いました。「先生、楓のブローチがよく似合ってますね」と思わず申し上げました。「これね、ポーキンス先生達がよく楓のブローチをしていらしたでしょう。いつもステキだと思っていたのでカナダに行った時、買って来てしまったの」と本当に嬉しそうに話して下さいました。あの日の先生の笑顔と

お声が忘れられません。ポーマン先生を尊敬され、心から柳城を愛されたことが深く私の心に入って、あついものをいただきました。野中先生ありがとうございました。



野中先生 神田さん 佐藤さん(筆者) 歴史資料室にて

平野先生、鳥井なつさん永眠



本学元教職員・同窓生の平野政子先生(八十六歳)が、一

月に神様のもとに旅立たれました。葬送式は名古屋聖マタイ教会で行われ、故人の生前の愛唱歌として柳城幼稚園の園歌が歌われました。

昭和二十六年柳城女子学院

(本学の前身)をご卒業、柳城幼稚園、御器所幼稚園、短大事務局を歴任、主任として昭和六十七年まで後輩の指導に励まれました。また、同窓会の書記、通信係として堪能な邦文タイプで、ご奉仕をして下さいました。



「学報44号」
において同窓の最年長者(百歳の鳥居なつさん(大正八年卒)を「卒業生訪問記」でご紹介しましたが、

二月一日にお亡くなりになりました。保育者として八十歳まで現役で働かれ、一〇三歳の天寿を全うされました。

尚、お二人のご遺族から本学を覚えて、寄付金を頂きました。感謝してご報告致します。

二〇〇三年度

保護者会会長あいさつ

岡戸 妙子



この度、歴史と伝統のある名古屋柳城短期大学の保護者会長を務めさせて頂いた、たくさんになりました。保護者会会員・委員の皆様、先生方のお力添えをいただきながら、役割を果たせるよう精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学生の皆様、名古屋柳城短期大学での学びは、皆様の人生の糧となり、共に生きる人々の生活に真の豊かさをもたらすものであることを知り、このような学びの機会を与えてくださった方々に感謝し、勉学に励んでいただけることを期待しております。

今年度は、短大創設五十周年という記念すべき年であり、行事も計画されております。この機会に今一度、名古屋柳城短期大学のすばらしい学風に触れ、良き伝統を再確認し、さらなる発展を続けていかれることを願いたいと思います。本年度は次の方に任を負っていただくことになりました。よろしく申し上げます。

会長	岡戸 妙子
副会長	林 裕子
会計監査委員	佐藤 恵子
会計監査委員	若松由充子
	大久保雅子
	東 ちなみ
	伊藤 敦子
	清水 昌江
	福入 秀子
	三輪千恵子
	岡本多江子
	田邊 淳子
	八田 雅子
	堀場 弘美
	白田 緑子

3号館の建て替え計画

この度、名古屋市が東南海地震の防災対策強化地域に指定されたことにより、耐震基準を満たしていない現3号館は、耐震補強するか建て替えるか選択を迫られました。

種々検討の結果、建て替えることとなり、九月末までに取り壊しを終了します。その後来年度に新しい3号館を建設することになりました。



3号館

新3号館は、時代の要請に沿った機能を持つ建物とするよう検討中です。永年皆様に親しまれた現3号館は一九六七年に建設され、当初は学長室・教室として、その後図書館・教室・歴史資料室・クラブ室として使用されてきました。皆様に親しまれ、懐かしい学生生活の象徴的な存在であったこの建物の取り壊しには寂しい思いを持たれる卒業生が多く居られることと思いますが、今後ともご理解ご支援を御願い申し上げます。

二〇〇四年度
保育科・専攻科(保育専攻・介護福祉専攻) 学生募集要項

「キリスト教を基本とした建学の精神に基づいて、健康で明朗快活かつ将来、保育者・幼児教育者を志す意思と熱意を持つて勉学にいそしむ学生を選抜する目的で以下の日程により入学試験を実施します。

保育科

募集定員 一五〇名

推薦入学試験

(日本聖公会教会 推薦入学試験を含む)

- ・募集定員 七十五名
- ・出願受付期間 十一月一日(土)～十一月十日(月)
- ・入学試験日 十一月十五日(土)又は十六日(日)のいずれか一日
- ・合格発表 十一月二十日(木)(通知発送日)
- ・一般・社会人入学試験 募集定員 七十五名
- ・出願受付期間 一月十三日(火)～二十三日(金)
- ・一般入学試験日

専任教員の論文紹介

二〇〇二年度研究紀要より

- 価値観と日本人の思考様式 …田浦 武雄
- 保育内容に関する一考察(一)ー領域健康を中心としてー …夏目 恒雄
- フィリピン・ネグロス島における就学前教育に関する一考察(一)ー幼児の心身の健康の視点からー …夏目 恒雄 飯田 和也
- シューベルトの歌曲集「冬の旅」(五)ー歌手とピアニストの為の演奏と解釈ー …野々垣文成
- 乳幼児期の発達における親子の絆の重要性についてー子育て支援への視座ー …成田 朋子
- ペスタロッチー「幼児教育の書簡」に関する一考察… …尾上 明子
- 造形活動の初期的行為としての探索活動ー造形遊びと比較検討するー …奥 美佐子
- 情報化社会と教育ーケイタイを介したコミュニケーション行動に見る(かかわり合い)の変容ー …鬢櫛久美子
- 保育科学生の学習効果と意欲ー教育実習事前指導における課題実習を通してー …長根利紀代
- 幼児の身体表現あそびにみられる物語展開の過程 …鈴木 裕子 西 洋子 本山 益子 吉川 京子
- 介護福祉教育における海外研修実践の評価 …中根 淳子 田中 厚子 田中 隆治
- 保育者養成短期大学における情報教育カリキュラム(三) …松山由美子
- 重い皮膚病を患った男ーその κηρύσσειν の内容と意味 …菅原 裕治
- 自閉症児の初期徴候と発達過程ー超早期療育を行ったA男の事例からー …荻原はるみ
- 指定介護老人施設における介護職員の入所者情報の共有化に関する現状と課題ーB施設の施設調査を通してー…三好 禎之
- 建学の精神「愛をもって仕えよ」に関する学生の意識 …岩井 勇児
- 音楽的表現活動ー学生が捉えたものー …安藤 昌子 飯田 和也

二月一日(日) 筆記試験

二月(月) 面接

・ 社会人入学試験日

二月一日(日) 作文・面接

・ 合格発表(一般・社会人)

二月六日(金)(通知発送日)

● 第一回入学試験

・ 出願受付期間

六月二十三日(月)～七月四日(金)

・ 入学試験日

七月十二日(土) 小論文・面接

・ 合格発表

七月十七日(木)(通知発送日)

● 第二回入学試験

・ 出願受付期間

一月二十六日(月)～二月六日(金)

・ 入学試験日

六月二十三日(月)～七月四日(金)

・ 合格発表

六月二十三日(月)～七月四日(金)

・ 入学試験日

二月十四日(土) 小論文・面接

・ 合格発表

二月十九日(木)(通知発送日)

● 専攻科介護福祉専攻

募集定員 三十名

・ 入学試験日

十一月二十五日(火)

・ 出願受付期間

十一月十三日(土)

・ 合格発表

十二月十八日(木)(通知発送日)

・ 入学試験日

二月二十三日(月)～三月五日(金)

・ 出願受付期間

三月十三日(土) 小論文・面接

・ 合格発表

三月十六日(火)(通知発送日)

・ 入学試験日

七月十二日(土) 小論文・面接

・ 合格発表

七月十七日(木)(通知発送日)

● 第二回入学試験

・ 出願受付期間

十一月二十五日(火)

十二月十三日(土)

・ 入学試験日

十二月十三日(土)

・ 合格発表

十二月十八日(木)(通知発送日)

・ 入学試験日

二月二十三日(月)～三月五日(金)

・ 出願受付期間

三月十三日(土) 小論文・面接

・ 合格発表

三月十六日(火)(通知発送日)

二〇〇三年度入試結果

新一年生206名入学

全国的に保育系短大の学生の

主要行事予定

- 4/2(水) 入学式
- 4(金) 健康診断
- 25(金)・26(土) (保育科) 合同ゼミナール
- 5/26(月) 幼稚園教育実習 (保育科2年生)
- 6/9(月) 第I段階施設介護福祉実習 (介護福祉専攻)
- 7/12(土) 専攻科(保育・介護) 第一回入試
- 16(水) 合同礼拝
- 22(火) 前期講義終了
- 28(月) 前期定期試験開始
- 31(木) 夏期休暇開始
- 8/1(金) 第1回大学見学会
- 4(月) 施設実習 (保育科2年生)
- 9/22(月) 後期講義開始
- 22(月) 第II段階施設介護福祉実習 (介護福祉専攻)
- 9/27(土) 第2回大学見学会
- 10/1(水) 創立記念日平常授業
- 29(水) 合同礼拝・記念音楽会
- 11/1(土) 短大創設50周年記念 礼拝・記念植樹・感謝の集い・墓前礼拝
- 11/1(土) 12/25(木) 『世界のクリスマス展』
- 11/2(日) 短大創設50周年 記念講演会
- 2(日)・3(祝) 柳城祭・ミニオーブンキャンパス

新年度報告

入学状況は順調である。

昨今、進学先を選択する際に卒業後の進路をしっかりと見据え、免許や資格を取得し、それに直結した就職をと堅実に考える高校生が増えている。ある調査によると「大学・短大への進学希望者の就きたい職業」(二〇〇四年三月卒業予定女子)で保育士(二〇・八%)が第一位である。

本学保育科の今年度入試状況が入学者数は過去最高であった。例年、一般合格者より多くの入学辞退がでるが今年はその予想をはるかに下まわった。このこ

とは推薦、一般受験者共に本学の入学を第一志望にしている受験者が増えたことを意味し、地道ではあるが一〇五年の歴史と伝統、高就職率の実績が脈々と受け継がれていると思われる。ただ、一般試験科目である国語の平均点が若干ではあるが落ちてきているのが気がかりである。推薦、一般の合格者の高校での成績評価点は推薦合格者で三・九、一般合格者では三・八であった。

専攻科は両専攻とも本学保育科出身者が大半を占めた。

創設五十周年を迎えます。記念行事を開催しつつ、東南海地震に備え校舎を建て替え、学生がよりよい学園生活をおくることのできるようにクラブハウスの設立やIT化に向けて学内の環境を整える方向で動き出しています。

夏期休暇より校内が準備のため使用しにくくなっているかと

今年度は柳城にとって記念すべき創立一〇五周年、短期大学

思いですが、機会を見つけて大先輩のように成長したいと強く思いました。また、そのような先輩たちを目標にし、これからの生活を頑張ろうと改めて思うことができました。

柳城に入学して

堀崎麗美 (保育科一年)

期待と不安を抱いて迎えた入学式から、すでに二ヶ月がたちました。同じ夢を持った友人にも恵まれて、高校とは異なる雰囲気にも慣れてきました。最初は、経験のない講義に不慣れで環境に慣れるだけで精一杯でした。しかし、毎日興味のある内容や将来に役に立つ講義は大変有意義で、日々の充実感を手に入れることができるようになりました。

また、この学校はキリスト教精神を根本にしており、その精神を日常生活や保育者として生きる考えに生かして私自身も間的に大きく成長したいと思っています。まだ入学して間もない私ですが、感謝の気持ちを持つことや、命の大切さを改めて認識させていただき、このような心を持って保育の道を進めることを心より誇りに思います。この学校の伝統ある教育のもとに、心のこもった保育者となるよう新しい出会いに感謝しつつ、努力を忘れず頑張りたいと思います。

10(月) 幼稚園教育実習 (保育科1年生)

保育所実習

15(土) 保育科推薦入試

12/8(月) Ⅲ段階施設介護福祉実習 (介護福祉専攻)

13(土) 専攻科(介護) 第二回入試

17(水) クリスマス礼拝

1/7(水) 講義開始

13(火) 居宅介護福祉実習 (介護福祉専攻)

1/13(火) 1/30(金) 復刻世界の絵本展 後期講義終了

20(火) 後期講義終了 (保育科・専攻科保育専攻)

21(水) 後期定期試験開始 (保育科・専攻科保育専攻)

2/1(日)・2(月) 保育科・一般社会人入試 第二回入試

14(土) 専攻科(保育) 第二回入試

16(月) 保育所実習 (保育科1年生)

3/13(土) 専攻科(介護) 第三回入試

3/15(月) 卒業・卒業・修了礼拝・新2年生履修ガイダンス

16(火) 卒業・修了式

介護福祉専攻開設五周年 記念講演会へのご案内

「老いの風景」執筆者
渡辺哲雄先生講演

今年本学は、創立一〇五周年・短期大学創設五十周年、介護福祉専攻開設五周年を迎えました。これを記念して、次の通り公開講座を開催することになりました。講師は「老いの風景」(中日新聞連載)執筆・渡辺哲雄先生をお迎えすることができました。先生は、長年病院の医療ケアスワーカーとして活躍された方で、その豊かな経験を通して、「老いることは、人間が人間らしく生きるということとは、愛することとは」を追求し続けてこられた方です。必ずや素晴らしいお話を聞くことができると思います。

「どうぞふるってご参加ください。」多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

テーマ
「老いの風景―老いること・死ぬこと・愛すること―」

日時
二〇〇三年十月十八日(土)
午後一時三十分～四時

会場

名古屋柳城短期大学 体育館
参加費 無料
申込先
名古屋柳城短期大学 教務課

あと一年でもうひとつ

資格を取得しませんか？

本学専攻科介護福祉専攻は、保育士資格を持つ人が、もう一年介護福祉専攻で学ぶことにより、国家試験を受けることなく、介護福祉士資格を取得することができます。専攻科です。

介護福祉士資格は、少子・高齢化のますますの進行と幼保一元化、施設の民営化と複合化傾向が強まるなか、現在そして未来に向けて、最も需要が期待される専門職資格です。

本学では、今年度より三回選考試験を実施することになりました。特に卒業生の皆さんの多数の応募を期待しております。「どうぞ奮って挑戦してください。」
第一回入学試験 七月十二日(土)
第二回入学試験 十二月十三日(土)
第三回入学試験 三月十三日(土)
なお、詳細については、名古屋柳城短期大学事務局教務課まで、お問い合わせください。

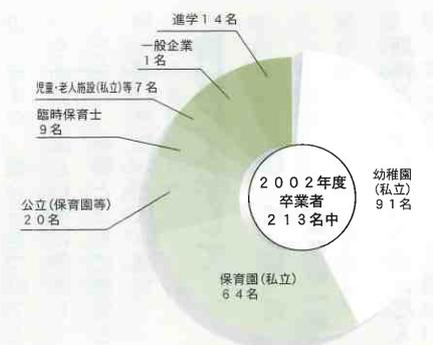
今年の就職状況

今年度も100%達成

本年度本学の卒業生は二二三名でした。そのうち一九二名が就職を希望し、全員がその目標を達成しています。

文部科学省による短期大学就職状況調査(02・4・1)によりますと、短期大学卒業生の就職希望率は72・8%、その希望者の就職内定率は90・2%となつていきます。

これに対し本学の就職希望率は90・1%(専攻科等への進学者十四名を除いた率は96%)で就職内定率は一〇〇%です。しかもほぼ全員が専門を生かした職に就いたことは本学学生の努力のたまものと思われまふ。



保育士登録の 手続きをしましょう

児童福祉法の一部が改正され、今後保育士として働くためには「保育士登録」の手続きをすることが必要となりました。

現在、保育士として業務に就いている方、今後、保育士として業務を行う予定のある方は登録申請をしてください。

登録申請する際、まず、「登録事務処理センター」に電話を取り寄せる必要があります。(お勤めの児童福祉施設で「手引き」を取り寄せてもらえる場合もあります)。「登録事務処理センター」の電話番号は下記のとおりです。

「保育士登録の手引き」をよく読んで手続きを行ってください。「登録事務処理センター」に提出する書類は次のとおりです。
・保育士登録申請書
(用紙が「手引き」に添付されています。)
・登録手数料の郵便振替払込受付証明書
(登録手数料四、二〇〇円が必

要です。振込用紙が「手引き」に添付されています。)

・保育士資格証明書(原本)
(卒業式で授与された証書です。)

※氏名変更された方・現在、児童福祉施設にお勤めの方等、提出書類が上記と異なる場合がありますので、詳細は「手引き」をよくお読みください。

◆登録事務処理センター・登録案内専用電話
〇二一〇一〇四一九四三

・音声案内及びFAX
〇三一五四八五―三三三三

(祝日を除く月曜日から金曜日の10時から18時まで)
・ホームページ <http://www.hokushi.jp>
〒一五〇一〇〇〇二

東京都渋谷区渋谷一―一八
青山ダイヤモンドビル

ご不明の点は、登録事務処理センター又は名古屋柳城短期大学教務課(☎〇五二一八四一―二六三五)にお問い合わせください。



附属幼稚園便り

柳城学院の三つの附属幼稚園

は百年余の歲月の中で、様々な時代を眺めながら、近年急激に変貌しました。歴史的に唯一残るのは、白壁町の柳城幼稚園で、歴史の中の子どもたちを眺めてきたイチヨウの木、桜の木となりました。



柳城幼稚園

しいお友だちを迎えました。

附属柳城幼稚園では、中野早苗園長とともに礼拝や聖書を通して神様の愛を知り、自主性と協調性を豊かに育む一歩がスタートしました。

柳城豊田幼稚園では関俣子園長とともに職員の一入ひとりが課題や目標を持ち、主体的に取り組むことで保育の資質向上に取り組んでいます。



柳城豊田幼稚園

三つの附属幼稚園では、一五

二名の年長さんの一人ひとりが大きな夢と思いを残して「柳城っ子」として卒園いたしました。そして本年は一六六名の新

また、附属三好丘聖マーガ

レット幼稚園では、感激の中に二〇〇一年に第一回の卒園生を送り出しました。そして本年は

小松伯子園長とともに、附属の最も新しい幼稚園として、保育内容、保育環境などあるべき姿を職員が共有し試行錯誤の中で取り組んでいます。



三好丘聖マーガレット幼稚園

歴史資料の展示及び「世界のクリスマス展」のご案内

保育史においても貴重本とされる本学所蔵のフレーベル著作の展示をいたします。

- 『MOTHER-PLAY AND NURSERY SONGS』(BOSTON) 1879年発行。
- 『母の遊戯及育兒歌 上下』頌栄幼稚園出版、明治30年(1897)発行。

なお、恒例になりました「世界のクリスマス展」も合わせて行っていますので、ぜひご覧下さい。

日時・場所 11/1(土)~12/25(木) 平日の9時~17時 本学4号館2階歴史資料室

新任職員紹介

中村 雅



今春四月から大学事務局に奉職させて頂いております中村雅です。皆様の暖かなご指導を頂きながら数か月が経過しました。簡単な自己紹介をさせて頂きます。生まれは青森県、育ちは宮城県です。

渋谷 勝治



はじめまして、二〇〇三年四月より就職で勤務させて頂いたことになりました渋谷勝治です。これまで三十八年間、名古屋市内に勤務しておりました。前半は土木局にて道路建設関係の仕事で、後半は北区役所の中にある社会福祉事務所、生活保護相談と特に高齢者相談をしてきました。少子高齢化の進む速さが予想以上に早いため施策の変化が著しく、事務は繁忙をきわめました。とりわけ介護保険法は最たるものでした。

本校に参りまして最初に感心したことの一つは、学生さん達の明るい挨拶の言葉です。おはようございます。"こんにちは" "さようなら" 柳城の伝統なのでしようか、こちらも気持ちよく挨拶させて頂いております。もう一つは、学内外が常に清掃され、美しく保たれていることです。勉学に励むにはとてもよい環境になっていると思えました。この様なところで働かせて頂くことに感謝しております。まだまだ不慣れな者でございますが、どうぞよろしくお願い致します。

2002年度 消費収支計算書

単位 円

	科 目	決 算	予 算	差 額
〔消費収入の部〕	学生生徒納付金	601,958,800	601,060,800	898,000
	手数料	11,001,600	11,023,000	▲ 21,400
	寄付金	42,426,637	36,568,000	5,858,637
	補助金	153,049,220	136,926,392	16,122,828
	資産運用収入	1,054,016	913,385	140,631
	事業収入	42,150,714	41,689,700	461,014
	雑収入	7,390,756	7,346,834	43,922
	帰属収入 合計	859,031,743	835,528,111	23,503,632
	基本金組入れ額	△ 22,491,000	△ 71,563,000	▲ 49,072,000
	消費収入の部 合計	836,540,743	763,965,111	72,575,632
〔消費支出の部〕	人件費	417,814,743	420,360,668	▲ 2,545,925
	教育研究経費	190,365,631	199,848,677	▲ 9,483,046
	管理経費	33,409,977	39,358,691	▲ 5,948,714
	借入金当利息	13,375,219	13,375,179	40
	資産処分差額 他	616,292	550,000	66,292
	予備費	0	15,500,000	▲ 15,500,000
	消費支出の部 合計	655,581,862	688,993,215	▲ 33,411,353
	当年度消費収入超過額	180,958,881	74,971,896	105,986,985
	前年度消費支出超過額	▲ 944,244,327	▲ 944,244,327	-
	翌年度繰越消費支出超過額	▲ 763,285,446	▲ 869,272,431	-

- 1) 2002年度決算について
 単年度の期間収支としては良好な結果を得られました。当年度は過去最高の学生・園児数が与えられて学納金・補助金が大幅に増加したこと、また諸先輩・関係諸氏から多額の寄付金が寄せられたこと、更に経費削減に向けた教職員の一致した努力等が相俟ってこの決算結果を得られたことは誠に有り難く感謝であります。寄付金につきましては創立100周年を記念して開始された校舎建設資金募金が、その最終年度である本年度、5年間累計で975口/63,283,094円という結果となりましたことを感謝をもってご報告申し上げます。
 しかし、当学院の財政状況は、上記表のごとく7億6千3百万円の消費支出超過額（繰り越しの赤字）を抱えているのが現実です。早期にこれを解消することが必須の課題と考えております。
- 2) 当学院を取り巻く状況について
 短期大学を取り巻く状況は益々厳しさを増しております。急速に進む少子化や高学歴化、それを背景とした大学間の生存競争の激化は、短期大学の4年制大学転換を強く推し進めております。保育者教育を中心に100年の伝統を誇る当短大としても、更なる100年の歴史を積み上げていくためには、時代の動向をしっかりと読み取りつつ、来るべき時代への備えを怠るわけにはいきません。当面の課題として経営体力の強化を図りつつ、教育内容の一層の充実、4年制大学転換等の課題に着実に対応していきたいと考えております。

人 事

◇短大◇

就任(二〇〇三年四月一日)

中村 雅 (事務局長付)
 渋谷 勝治 (就職課係長)

昇任

菅原 裕治 (助教 授)
 種市 淳子 (図書館主任)
 大澤 弘毅 (教務課主任)

異動

原田 信也 (教務課)
 中村 雅 (総務課課長)
 (二〇〇三年七月一日)

◇附属幼稚園◇

就任(二〇〇三年四月一日)

中野 早苗 (柳城幼稚園長)
 酒泉 裕美 (豊田幼稚園)
 中島真由美 (豊田幼稚園)
 山本 麻美 (三好幼稚園)
 大西 修 司祭
 (豊田幼稚園)
 野村 潔 司祭
 (三好幼稚園)

異動

内海 直美 (豊田幼稚園)

◇短大◇

退任 矢澤 基至 (教務課主任)

(二〇〇三年一月三十一日)
 村瀬 均 (総務課係長)
 (二〇〇三年六月三十日)

◇附属幼稚園◇

退任(二〇〇三年三月三十一日)

先田 泰子 (柳城幼稚園長)
 深谷真紀子 (豊田幼稚園)
 田中 光代 (豊田幼稚園)
 川添 麻希 (豊田幼稚園)
 後藤 一郎 司祭
 (豊田幼稚園)
 土井 宏純 司祭
 (三好幼稚園)

編集後記

この記念すべき年に当たり、「学報」の題字・デザインを一新することになりました。少し前の卒業生の方々とっては、亡き磯谷先生の柳の木デザインをなつかしく覚えておられる事でしょう。このたび五十周年を記念し、題字は書家 清田麦舟氏に、デザインは竹内伸夫氏にお願いしました。
 五十周年行事で皆様とお会いできることを楽しみにしつつ、
 (歴史資料委員会)